

2008年10月17日

『UNIDROIT 国際商事契約原則』2004年版について

1. 『UNIDROIT 国際商事契約原則』2004年版の日本版について

- 1.1 『UNIDROIT 国際商事契約原則』は、1994年に初めて公表されたのち、2004年に新しいバージョンが公表された。1994年版については、その公式の日本語版として、曾野和明=廣瀬久和=内田貴=曾野裕夫訳『UNIDROIT 国際商事契約原則』(商事法務、2004年)が公刊されているが、2004年版については、まだ正式の日本語版は公刊されていない(現在、準備中である)。
- 1.2 ただし、条文の日本語仮訳が UNIDROIT のウェブサイトに掲載されている(注釈を除く条文のみ)。

<http://www.unidroit.org/english/principles/contracts/principles2004/translations/blackletter2004-japanese.pdf>

- 1.3 また、2004年版で新規に追加された「第2章第2節 代理」については、注釈部分を含む仮訳として、別添参照。この仮訳で用いられている条文訳は、上記1.2に挙げたものと同一である。

2. 『UNIDROIT 国際商事契約原則』1994年版と2004年版の相違点等

- 2.1 両者の相違点については、曾野和明=廣瀬久和=内田貴=曾野裕夫訳『UNIDROIT 国際商事契約原則』(商事法務、2004年)279-282頁所収の「Appendix II UNIDROIT 国際商事契約原則第2版について」(内田貴執筆)を参照されたい。
- 2.2 2004年版の新規定の解説として、内田貴「ユニドロワ国際商事契約原則2004改訂版の解説(1)~(5)未完」NBL 811号~815号(2005年)がある。ただし、この解説で用いられている条文訳は、上記1.2で挙げたものとは異なるので注意を要する。

文責・曾野裕夫(北海道大学)